令和7年第1回 日高市教育委員会会議録

開催の日時	令和7年1月22日（水曜日） 午後1時41分から3時43分まで
会議開催の場所	市役所501会議室
会議の公開又は非公開の別	公開。ただし人事案件については非公開。
非公開理由	個人に関する情報が含まれるため。
出席委員の氏名	中村一夫（教育長）・山川治美・島村由起男・芳澤佐織・馬場優子
欠席委員の氏名	なし
説明員の職氏名	教育部長 滝沢淳・教育部参事 長嶋伸一・教育総務課長 中條智則・学校教育課長 下ノ坊圭・学校教育課副参事 澤田秀一・生涯学習課長 吉野修・生涯学習課副参事 松本尚也・武蔵台小中学校校長 秋馬信之・武蔵台公民館長 比留間徳也
出席した事務局職員の職氏名	教育総務課主幹 大河原夏樹
傍聴者数	1人
会議資料の名称	会議次第、教育長報告、議案第1号

議題及び決定事項等

議案第1号 日高市教育委員会表彰に係る被表彰者の決定について

【原案どおり可決】

会議の経過

1) 前回会議録の承認事項 出席委員異議なく承認

2) 教育長報告の要旨

○教育委員会部課長会議、校長会議における教育長指示・伝達内容について報告した。

○その他、各部課長から、実施した事業等の結果と今後の予定を報告した。武蔵台小中学校校長から教育活動状況について報告した。

3) 教育長報告についての質疑及び答弁の要旨

【教育長報告関連】

(委員) 武蔵台小中学校の教育活動について、義務教育学校となり2年目であるが、よく取り組んでいると思う。全校清掃で後期課程の生徒が前期課程の児童に手本を示す取り組みはよいことだと思う。上級生としての自覚が芽生える。そういった取り組みが結果的に学力向上につながっていくのではないかと思う。また、教えない教育を実践するには、家庭の協力が必要だと思う。学校だけで教えない教育を行う

- ことは難しいと思うので、目標を据えて具体的に協力を要請した方がよいと思う。
- (委員) 最近の大学入試共通テストについて、国語の問題が社会の問題かと思うような形で出題されたり、理系の問題も発想とひらめきが必要とされるものが出題されるなど、考える力が求められる傾向にある。子どもたちには、日頃から、ものごとが何故そうなるのかということのを常に考えるようにすることが大切だと思う。自分で疑問に思えば、自分で調べるし、身にもつく。畑で大豆づくりが失敗したなら、なぜ失敗したかを探ることが大切である。上級生が調べて、下級生に教える機会を作れば、本気で考える。そういった経験を小中一貫教育に取り入れていくことが大切だと思う。
- (委員) 子どもへのアンケートの結果に「いじめ」というキーワードが入っていたことや、制服自由化のアンケートで1割が否定的な回答をしているのが気がかりである。
- (武蔵台小中学校校長) 「いじめ」というキーワードは、学校の自慢できるところのアンケートで、いじめがない学校と回答したものである。制服自由化については、毎日着ていく服がないなどといった理由で否定的な回答となっている。
- (委員) アンケートで大切なのは、ネガティブな意見を拾い分析、解決していくことである。
- (委員) 2年間で素晴らしい成果である。小さな積み重ねが大切であると思う。現在の生徒指導上の諸課題はあるか。
- (武蔵台小中学校校長) 義務教育学校開校前に心配していた小学校と中学校の教員の意識の差は、今はほとんど見られない。子どもたちの状況も前期課程と後期課程の教員で共有できている。不登校対策は課題の一つである。
- (委員) 校内人事上の諸課題はあるか。
- (武蔵台小中学校校長) 現在の教職員は、開校時の苦楽を経験しており同じ方向を向いているが、今後、人事異動などで新たな教職員も配属されてくる。義務教育学校の趣旨をよく理解してもらい、教育活動を充実させていきたい。
- (委員) 笑顔というキーワードはよいと思った。校長が笑顔なら、教員、子どもたちも笑顔になる。みんな笑顔でよい雰囲気のある学校になればと思う。
- (委員) 制服自由化に係る正装指導は難しいと思う。大人も迷うことなので、指導となるとなおさらである。
- (武蔵台小中学校校長) 今検討しているのが、まず、導入の部分で、一般的な冠婚葬祭に適した服装、入社式などにふさわしい服装といった話をしたあと、どういったものがふさわしい正装なのかを生徒たちに考えてもらおうと思っている。
- (委員) 高校受験の服装はどうしているのか。保護者も心配だと思う。
- (武蔵台小中学校校長) 保護者らへは受験にふさわしい服装の話は行っている。
- (委員) 本物の芸術に触れる取り組みを行っているが、どういった内容を行っているのか。
- (武蔵台小中学校校長) 一昨年はオーケストラ、昨年は落語、今年は三味線と大太鼓の競演を実施した。
- (委員) 武蔵台地区は地域との交流が活発であると思う。他の学校でもできない理由を探すのではなく、ぜひいろいろとチャレンジしてもらいたい。

(委員) 武蔵台小中学校には英語の部屋など教科ごとに部屋があるが、こういった使い方をしているのか。

(武蔵台小中学校校長) 教科ごとに専用教室を設けており、そこで授業を実施している。

(委員) 例えば、放課後に教科の教員がその部屋にいて、自由に質問に行けるような環境を作れば学力向上につながるのではないか。自主性を重んじる教育を進めるには、それに応える大人がいなければならない。

(委員) ファミリーコンサートについて、以前は武蔵野音楽大学に来てもらっていたと思うが、東邦音楽大学に変わったのか。

(生涯学習課長) 3年前から東邦音楽大学にお願いしている。

(委員) 感染症対策について、新型コロナウイルス感染症による学級閉鎖なら、5日程度が望ましい。

(委員) 教えない教育の進捗はいかがか。

(教育長) 教員たちも子どもたちに考えさせることを意識できるようになってきた。

(委員) 成績表のつけ方も変えていったほうが良いと思う。結果だけで評価すると教えない教育にはつながらない。正解ではなくても過程も大切である。文章で評価することと、子どもが目標となることを示すことが大切である。定型に当てはめるのではなく、子ども個々の特性をみてほしい。

(委員) 形成的評価は難しい。

(委員) 二十歳のつどいについて、ひだかアリーナで式典を行い、その後、地区ごとに集まって行事を行ったが、コロナ禍を機に地区ごとの集まりを始めたが、大変良い取り組みであると思う。式典に参加していなくても地区の集まりには来ている人もいた。家庭の事情で着物が着られず式典に参加しづらい人もいるかもしれない。また、成人式の記念品は何かあった方がよいのではないか。飯能市は西川材を使った記念品と聞いている。

(委員) 部活動の地域移行の進捗状況はいかがか。

(学校教育課副参事) 現在、方向性を検討している段階である。

(委員) 中3の英語検定3級以上の保持率が低下している。結果を検証してフィードバックをすることは教育委員会の役割である。

4) 議題

議案第1号 【非公開のため記載せず】

5) その他

(1) 次回定例会の日程等について

○ 1月定例会：2月20日（木曜日）午後1時40分から 委員了承

○ 2月定例会：3月13日（木曜日）午後1時40分から 委員了承